



YAMAZEN

電話通話録音機

YVR-DR1

取扱説明書 (保証書付)

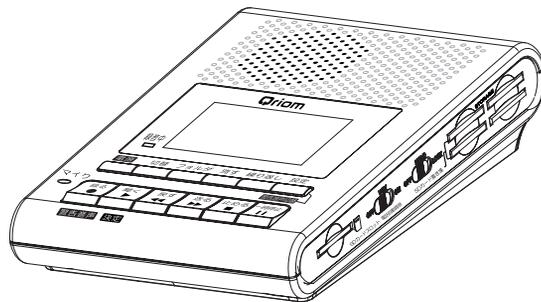
ご使用になる前に

この取扱説明書 (保証書付) を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。

キュリオム
Qriom

ご注意

録音した電話の通話内容をインターネット上に無断でアップロードした場合、プライバシーの侵害などで違法行為となりますので、ご注意ください。



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間：

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では

ご利用にならない場合がございます。

メールでのお問い合わせは

E-mail : support@qriom.com

ホームページ：[キュリオム](#)

この度は、電話通話録音機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

～ 目 次 ～

1. 安全上のご注意	4
2. ご使用の前に	4
電池に関する注意	4
使用できる電池について	5
電話通話録音に関するご注意	6
3. はじめて使う前に必ずお読みください	7
本体各部の名称	7
付属品一覧	9
画面の説明	9
(電話の通話録音)	
はじめて使う前に、電話機との接続	10
電源を入れる、切る	11
はじめて使う前に、設定する	11
動作確認を行う	15
はじめて電話を録音してみる	18
SDカード(別売・市販品)の使い方	20
ステレオイヤホン(別売・市販品)の使い方	24
ラインケーブル(別売オプション品)の使い方	24
外部マイク(別売・市販品)の使い方	25
付属ACアダプターを使用する	25
電池の入れ方	26
4. 電話の通話を録音する	27
5. 警告音声を流す	31
6. 電話自動録音を設定する	32
7. 録音した通話を再生する	33
8. 録音した通話を削除する	34
9. その他の基本的な使い方	36
ホールドスイッチの使い方	36
音量を調節する	37

音質を調整する	37
VOX機能を設定する	37
各種設定	38
録音残時間を表示する	40
録音したファイルの録音日時を表示する	40
10. ボイスレコーダー機能を使う	41
録音する	41
再生する	42
早戻し/早送り	43
リピート再生する	43
録音したファイルを削除する	44
ファイルを1つ削除	44
フォルダ内の全てのファイルを削除	44
外部入力の録音方法	44
外部マイクの録音方法	45
11. パソコンで聞いたり、保存したりするには	46
パソコンとの接続・取り外し	46
パソコンで聞いたり、保存したりするには	47
パソコンに接続中の本機のフォルダ構成	48
12. 本製品をパソコンでフォーマット（初期化）するには	49
13. データの取り扱いに関する注意	51
14. 著作権について	51
15. 故障かな・・・?と思ったら	52
16. 画面メッセージ一覧	54
17. 製品仕様	55
18. 免責事項	57
19. お手入れの仕方	58
20. アフターサービスについて	59
21. 個人情報保護の取り扱いについて	59
保証書	

1. 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。 分解禁止 ●火災・感電・けがの原因となります。	 自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。 指示に従う ●本体の変形・故障の原因となります。
 不安定な場所や傾いたところでは使用しない。 禁止 ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。	 水につけたり、水をかけたりしない。 水ぬれ禁止 ●ショート・感電の恐れがあります。
 開口部やすき間から異物を入れない。 禁止 ●火災・感電の恐れがあります。	 電が鳴り出したら本体に触れない。 指示に従う ●感電やけがの恐れがあります。

2. ご使用前に

電池に関する注意

下記の注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

- ① 必ず電池のプラス(+)、マイナス(-)を正しく挿入してください。
- ① 爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。
- ① 長時間使用しない時は、電池を抜いて保管して下さい。抜かない場合、液漏れの原因となります。
- ① 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、直ちに

医師の治療を受けて下さい。

- ❶ 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。
- ❷ 指定された種類の電池を使用して下さい。
- ❸ 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因になります。
- ❹ 直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
- ❺ ⊕と⊖端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ❻ 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護して下さい。キーホルダーなどの真金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ❼ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- ❽ 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- ❾ 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- ❿ 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。
- ⓫ 万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリウムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。
- ⓬ 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- ⓭ 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。
- ⓮ 火気のある場所に電池を置かないでください。
- ⓯ 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ⓰ 乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ⓱ 充電時は、同時に充電した充電電池をご使用ください。
- ⓲ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

使用できる電池について

本製品でご使用になることができる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用にならないよう十分に注意してください。

■単3形アルカリ乾電池（推奨：山善、パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）

■ニッケル水素充電電池（推奨：パナソニック 社製エネルーブ）

<ご注意>

■ニッケル水素充電電池（パナソニック 社製エネルーブなど）をご使用の際は充電が満タンの状態でも電池残量表示が若干減っている状態になります。これはアルカリ乾電池を基準に電池残量表示を設定しているため、アルカリ乾電池の電圧が1.5Vに対してニッケル水素充電電池は1.2Vと低いため起こる現象です。製品の不具合ではございませんのでご了承ください。

■日本以外のメーカーのアルカリ乾電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。

■マイクロSDカード、マイクロSDHCカードに録音の際は付属のACアダプターのご使用をおすすめ致します。アルカリ乾電池はご使用いただけますが、電池の消耗は早くなり、内蔵メモリーへの録音時の電池持続時間よりも短くなります。

■ニッケル水素充電電池はマイクロSDカード、マイクロSDHCカードの種類や容量によって電池ではご使用にならない場合がありますので、ご注意ください。

■オキシライド乾電池はご使用できませんのでご注意ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

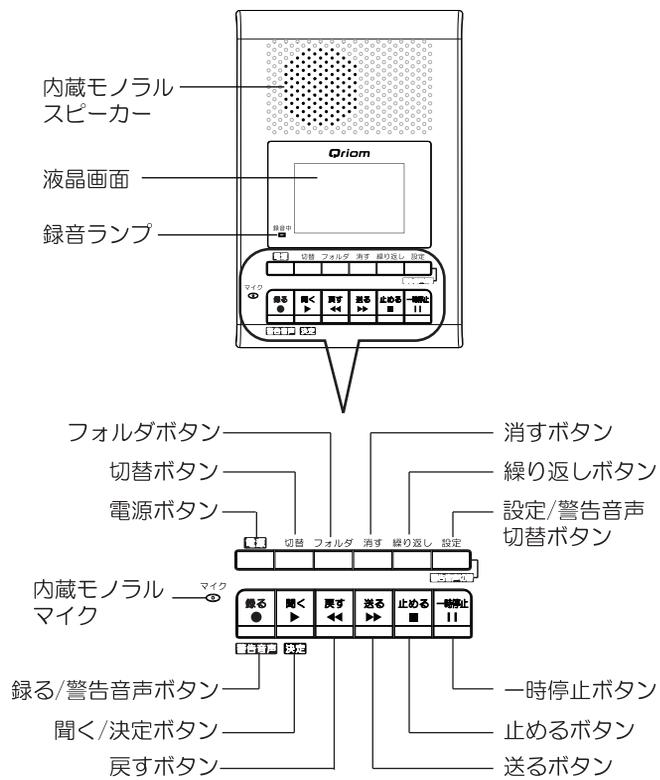
電話通話録音に関するご注意

- 固定電話以外ではご使用になれませんのでご注意ください。
- 本機を接続できる電話機は電話機本体と受話器の間が、モジュラージャックで取りはずせるタイプで、4極4芯のものがご使用になれます。
- 電話機の中には、送話側の回線と受話側の回線に接点のない構造のものがあります。送話側と受話側の回線に接点がない電話機には、本機は使用できませんので、あらかじめ電話機のメーカーにお問い合わせください。
- 大切な通話内容を録音する際には、事前に必ず録音テストを行ってください。
- 接続例のとおりにも使用しても、まれに正常に機能しないことがあります。また、万が一うまく録音できない場合がありましても、損害賠償などの一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は古いデータから自動的に削除して上書きするエンドレス録音方式です。大事なデータはこまめにパソコンへバックアップすることをお勧め致します。
- コードレス子機で電話に出たり、かけた場合、本機の全ての機能をご使用になれませんのでご注意ください。本機が接続されている親機をご使用ください。
- 電話機のハンズフリー機能（スピーカーで相手の通話を聞く）をご使用の場合、本機の全ての機能をご使用になれません。また、ハンズフリー機能をご使用する前に本機の電源を必ずオフにしてください。ハンズフリーの音声にノイズが入る場合があります。
- 警告音声の再生中は電話の通話録音、また、警告音声の内容は録音出来ませんのであらかじめご注意ください。
- 本機の電源をACアダプターのみ（電池未挿入）で録音中にACアダプターのプラグを本機から急に抜いたり、停電やご家庭のブレーカーがオフになった場合、録音中のデータは保存されませんのでご注意ください。※以前保存したデータは残ります。
- 受話器から聞こえる警告音声は接続方法や設定が正しい場合でもお客様の電話機のメーカー、種類によって小さく聞こえたり、聞きづらかったりすることがありますが、本来の目的である通話相手への警告音声に正常に流れている場合、本製品の異常ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 警告音声は本体スピーカーからは流れませんのであらかじめご注意ください。
- 電話機の種類により録音した相手の音声と自分の音声の音量に差が生じることがありますが、本製品の異常ではありませんのであらかじめご了承ください。※相手の音声、又は自分の音声がかく聞こえず録音されていない場合、接続方法や設定がお客様の電話機に合っていない場合がありますので本書を再度お読みいただき、接続方法、設定をご確認ください。
- 本機をコンピューターに接続した状態では電話録音機能やその他全ての機能を正常に行うことはできませんのでご注意ください。
- 本機の電話録音モードでの録音はエンドレス録音となっており、古いデータからファイル単位で自動削除を行います。
※但し、2ファイル以下でメモリー全体を使い切ってしまった場合、自動削除ができずに画面に「FULL」と表示されます。この場合、お客様ご自身でファイルの削除を行っていただく必要がありますのであらかじめご注意ください。

3. はじめて使う前に必ずお読みください

本体各部の名称

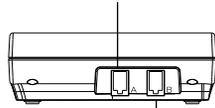
<本体前面>



本体各部の名称

<本体上面>

モジュラーコード差し込み口 **A** (電話機へ)

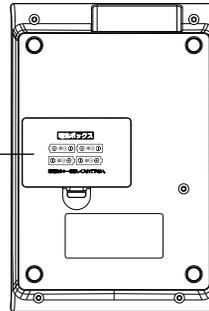


モジュラーコード差し込み口 **B** (受話機へ)

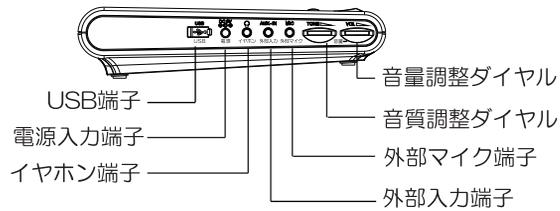
※電話機の種類により**A**又は**B**への接続方法が異なります。

<本体裏面>

電池ボックス



<本体左側面>



<本体右側面>

VOXスイッチ
(電話自動録音スイッチ)
SDカードスロット
ホールドスイッチ
SDカード置き場



付属品一覧

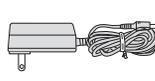
下記のとおり、付属品が同梱されていることを確認してください。



取扱説明書



USBケーブル

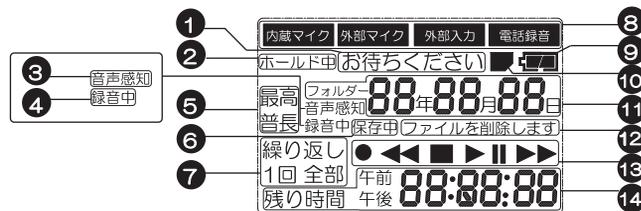


ACアダプター



モジュラーコード

画面の説明

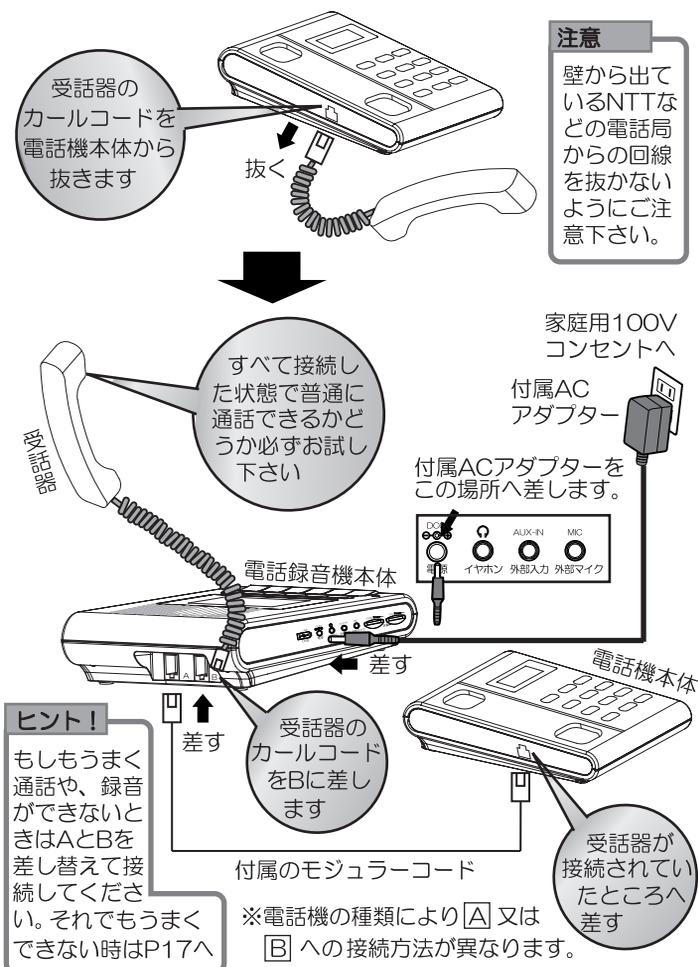


- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① お待ち下さいメッセージ ② ホールド中メッセージ ③ 音声感知メッセージ ④ 録音中メッセージ ⑤ 録音音質
最：最高音質
高：高音質
普：標準音質
長：長時間録音音質
(低音質) ⑥ 保存中メッセージ ⑦ 繰り返しメッセージ
(全部：全削除時に表示) ⑧ 現在選択中のモード表示
・内蔵マイク録音モード | <ul style="list-style-type: none"> ・外部マイク録音モード ・外部入力録音モード ・電話録音モード ⑨ 電池残量アイコン
(電池未挿入の状態ではACアダプター接続時、 空の表示となります) ⑩ SDカード挿入時表示 ⑪ 日付表示/選択しているフォルダーの表示 ⑫ ファイル削除メッセージ ⑬ 録音・早戻し・停止・再生・一時停止・早送り状態アイコン ⑭ 録音残り時間表示/録音日時表示/
録音経過時間表示/再生経過時間表示/
メッセージ表示 (P54参照) |
|---|---|

(電話の通話録音)

はじめて使う前に、電話機との接続

電話の通話内容を録音する場合は、付属のモジュラーコードを使用して、下図を参考に接続してください。



電源を入れる、切る

電源ボタンを約2秒長押しします。

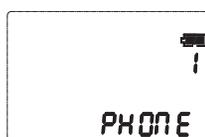


電源を切る場合も同様に電源ボタンを長押しします。

はじめて使う前に、設定する

最初に『設定』ボタンを長押しします。

※下記の画面でしばらく何もしないと元の画面に戻ります。



1 電話機タイプの設定画面が表示されます。

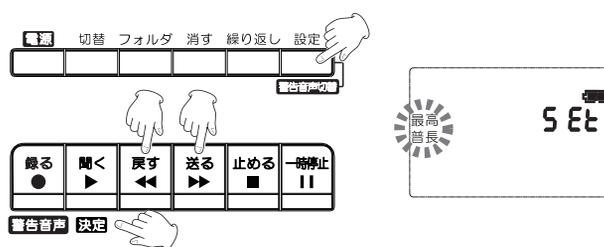
ここでは初期設定のままで次の設定へ進みます。

『決定』 () ボタンを押します。



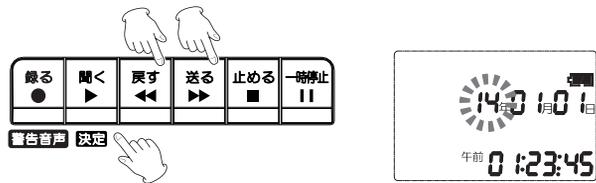
2 電話機のタイプの設定が完了した後、録音音質設定画面が表示されます。（詳細はP38各種設定を参照）

◀ または ▶ を押すと選択中の音質が点滅するので、『決定』（◀▶）ボタンを押して決定します。



最高	最	LPCM 48k	CDに近い音質で録音することが可能です。 ライン録音には最適な設定です。
高音質	高	LPCM 16k	クリアな音質で録音できます。電話の通話録音に適しています。
普通	普	APCM 64k	標準録音です。ボイスの録音にはおすすめです。
長時間	長	APCM 32k	長時間録音におすすめですが、低音質です。

- 3** 録音音質設定完了後、フォーマット画面に切り替わります。「no」表示のまま『決定』（) ボタンを押すと、日付・時刻設定画面に切り替わります。「年」(西暦)を「◀◀」又は「▶▶」で設定し『決定』() ボタンを押して決定します。以降の「日」、「時」、「分」、「秒」も同じ方法で設定してください。設定が全部終わったら、『決定』() ボタンを押します。



- 4** **1**～**3**の設定が終了したら、『設定』ボタンを押して設定画面を終了し、元の画面に戻ります。



- 5** 電話自動録音の設定を行います。



⑥ 警告音声を出すかどうかの設定を行います。

『警告音声切替（設定）』ボタンを押すたびに1 On→2 On→OFFと切り替わりますので、必要に応じて設定してください。

※ボタン切り替え後、2～3秒で元の画面に戻ります。
もう一度、警告音声切替（設定）ボタンを押すと、次の項目に切り替わります。

（1 Onの内容）（家庭用）

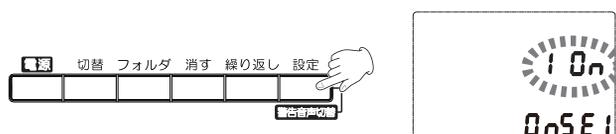
「この通話は通話内容の確認のために録音致します」

（2 Onの内容）（企業・会社用）

「お電話ありがとうございます。お客様との通話はお問い合わせ内容の確認とサービス向上のために録音をさせていただきます」

（OFF）

警告音声を出しません。



選択した内容で『決定』() ボタンを押します。

動作確認を行う

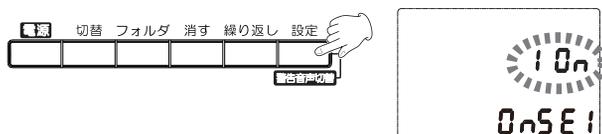
本機の取付と設定が完了したら、以下の動作確認を行ってください。

- 1 画面右上に **電話録音** と表示されていることを確認してください。
表示が違う場合『切替』ボタンを何度か押して **電話録音** モードに切替えてください。



- 2 『警告音声切替（設定）』ボタンを短く押して警告音声を「1 On」に設定してください。

※ 『警告音声切替（設定）』ボタンを押す度に「1 On」→「2 On」→「OFF」というように順に切り替わります。



- 3 電話機の手話器をとって耳にあて、「プー」と音が聞こえることを確認してください。

- 4 続いて『録る』ボタンを押してください。



5 警告音声が聞こえることを確認してください。

受話器から聞こえる警告音声は接続方法や設定が正しい場合でもお客様の電話機のメーカー、種類によって小さく聞こえたり、聞きづらかったりすることがありますが、本来の目的である通話相手への警告音声が正常に流れている場合、本製品の異常ではありませんのであらかじめご了承ください。

6 『止める』ボタンを押して録音を停止します。



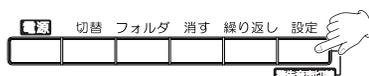
以上が正しくできれば設置は無事に完了です。

もしも警告音声が聞こえない等、正しく聞こえない場合は接続方法や設定を変更する必要がありますので、次ページ以降を参考に設定と接続を確認してください。

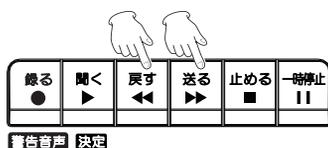
● チェック方法その1

電話機タイプ（4パターン）の設定を変更する

1 『設定』 ボタンを長く押しします。



2 ◀◀ 又は ▶▶ ボタンを押して 電話タイプを変更します。



3 『決定（聞く）』 ボタンを押してから 『設定』 ボタンを押します。



4 前ページの **1** ~ **4** のテストを再度実行します。

5 正しく出来ない場合はまた **1** からやり直して、電話タイプを変更してテストします。

● チェック方法その2

上記でもまだ正しく設定出来ない場合はP10の接続で本体背面のモジュラー差し込み口 A、Bを差し替えて上記のチェック方法その1をテストしてください。

それでも正しく通話、録音出来ない場合は「キュリオムサポートセンター」へご連絡ください。

はじめて電話を録音してみる

<事前に設定しておくこと！>

電話録音モードに切り替えます。

『切替』ボタンを押すたびに画面右上のモード表示が切り替わります。電話録音 と表示されたら設定完了です。



警告音声（手動録音の場合）

※電話の通話を自動で録音する方法はP27を参照ください。

- 1 電話がかかってきたら受話器を取ります。(こちらからかける場合も同様となります)
- 2 『録る』ボタンを押します。

ご注意

電話自動録音の設定がオンの場合でも、一番最初に必ず『録る』ボタンを押します。(2回目以降は自動で録音が始まります) 一度、再生したり、他の録音モードを使用した場合も一番最初に必ず『録る』ボタンを押します。

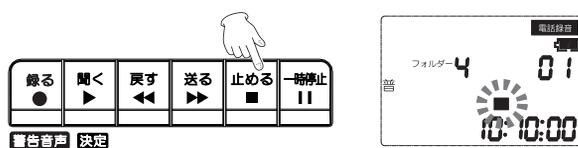


3 警告音声が流れます。

※オフに設定の場合は流れません。

4 通話終了後、受話器を置きます。

5 『止める』ボタンを押して保存します。



6 『聞く』ボタンを押すとすぐに再生が始まります。

ヒント!

音が小さくて聞こえない場合は本体左側面の音量ダイヤルをまわして大きくしてください。



SDカード（別売・市販品）の使い方

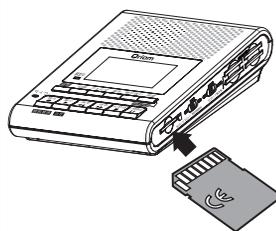
★お知らせ

- SD (SDHC) カードを使用する際は、初めに本機でフォーマットを実施してください。
フォーマット方法については、P39を参照ください。
- 本機はSDカードを優先して認識します。(内蔵メモリーとSDカードの選択は手動で出来ません) 本機にSDカードを挿入するとSDカードで録音、再生します。SDカードを抜いた場合は内蔵メモリーで録音、再生します。(内蔵メモリーで録音、再生するにはSDカードを必ず抜く必要がありますのでご注意ください。

SDカードの向きに注意して挿入してください。

※注意

- 無理にSDカードを入れると、本機の破損等の思わぬトラブルの原因になりますのでご注意ください。
- NTFS形式でフォーマットされたSD、SDHCカードは絶対に本機に挿入しないでください。誤って挿入してしまった場合、保存されたデータがすべて破損してしまいますのでご注意ください。



■ SD、SDHCカードの取り扱いについて

⚠ 注意

- 本機にはSD、SDHCカードは付属しておりません。
- 市販品のSD、SDHCカードをお買い求め下さい。
- サンディスク社製を推奨いたします。

⚠ 注意

- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- 本機付属USBケーブル以外のUSB延長ケーブル、USBハブによるPCとの接続は動作保証対象外となります。
- SD、SDHCカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- SD、SDHCカードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音/再生が出来ない事があります。あらかじめ本機でフォーマットしてからご使用ください。
- SD、SDHCカードに録音する場合(ライン入力、ボイス)はACアダプター又は必ず新品のアルカリ乾電池をご使用ください。(パソコンから取り込む場合は除く)アルカリ乾電池をご使用いただけますが、電池の消耗は早くなり、内蔵メモリーへの録音時電池持続時間よりも短くなります。
ニッケル水素充電池はSD、SDHCカードの種類や容量によってご使用になれない場合があります。

⚠ SD、SDHCカードを本機に認識させる際のご注意

本機の電源が入っている状態でSD、SDHCカードをプッシュすると簡単にSD、SDHCカードを認識します。電源を入れる前からSD、SDHCカードを入れている場合は電源を入れた時にSD、SDHCカードが認識されていない可能性があります。その際は電源が入っている状態でいったんSD、SDHCカードをプッシュして取り出し、再度プッシュして入れると簡単に認識します。電池を入れる前にSD、SDHCカードを入れてしまった時も上記と同様にいったん取り出し、再度入れると簡単に認識します。

※電源をオフにする直前の状態がSD、SDHCカードを使っていた場合は再度電源を入れた時もSD、SDHCカードを認識した状態で電源が入ります。

※本機はSD、SDHCカードを優先して認識します。(内蔵メモリーとSD、SDHCカードの選択は手動で出来ません)本機にSD、SDHCカードを挿入するとSD、SDHCカードで録音、再生します。SD、SDHCカードを抜いた場合は内蔵メモリーに録音、再生となりますのであらかじめご注意ください。

使用できる SD、SDHCカードについて

本機ではSDHC™ カード、SD™ カードが使用できます。
(別売・市販品)

※SDカード最大2GB、SDHCカード最大32GBまで対応可能です。

SD、SDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない
場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、
当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項
が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらか
じめご了承ください。

本機、SD (SDHC) カード及びパソコンの不具合により、転送や
ダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去さ
れた場合、ファイル内容の補償はいたしません。

<再生について>

- 本製品で再生可能な形式は WAV 形式です。

<録音について>

- 録音している際には絶対に SD、SDHC カードを取り外したり、
電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。SD、SDHC
カード及び内蔵メモリーに入っている音楽データが破損する恐
れがあります。
- SD、SDHCカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生
じる場合があります。これは SD、SDHCカードの特性により
発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録され
た内容については、SD、SDHCカードに正しく録音されている
か確認していただくことをお勧めいたします。

- SD、SDHCカードに録音する際の電池持続時間はSD、SDHCカードのメーカー、種類により、変動致しますのでご了承ください。

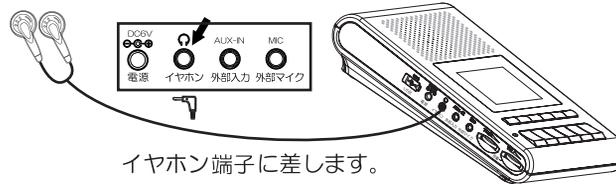
 注意

- 使用後取り出した後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。

  SDロゴはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

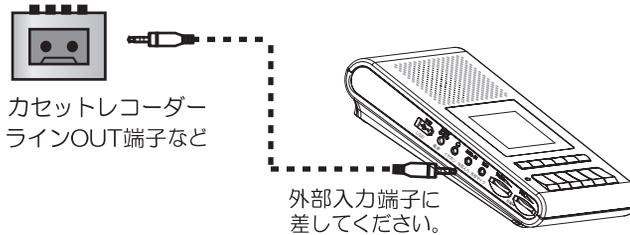
ステレオイヤホン（別売・市販品）の使い方

※イヤホン使用時は、スピーカーからは音が出ません。



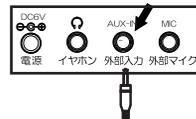
※イヤホンはステレオとモノラルの両方がご使用できます。
（ステレオイヤホンを使用してもモノラル音声となりますのでご注意ください。）
※イヤホンは付属されておりませんのでお近くの量販店等で市販品をお買求めください。

ラインケーブル（別売オプション品）の使い方



ヒント！

カセットなどに録音した音楽などを本機に録音する時に使います。



『※ラインケーブルは別売品です（専用品をお取り寄せとなりますので、販売店にお問い合わせください。また下記のネットショップにて販売をしております。市販品はご使用になれませんのでご注意ください。）』

ラインケーブル
型番：YVR-LN1

YAMAZEN 暮らしのeショップ
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>
※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

外部マイク（別売・市販品）の使い方

外部マイク（別売・市販品）

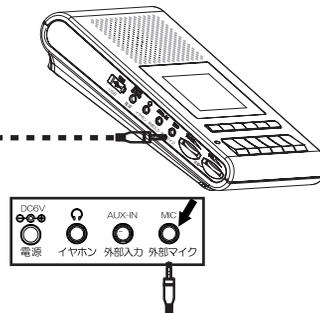
外部マイク（別売・市販品）を使う時は外部マイク端子へ差し込んでください。

※ステレオマイクに対応しています。ステレオマイクを使用してもモノラル録音になりますのでご注意ください。

どんなマイクが使用できますか？



外部マイクをお使いください。端子のサイズは3.5mmφ、プラグインパワー方式コンデンサーマイクをお選びください。



★お知らせ

外部マイクを接続した際は、内蔵マイクは自動的に切れます。

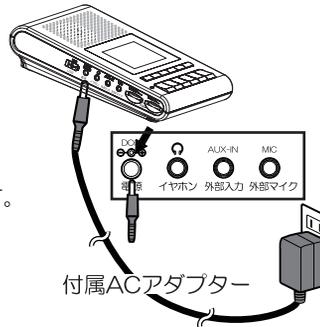
付属ACアダプターを使用する

付属ACアダプターを使用すると電池が無くても使用する事ができます。ご自宅でのご使用時は、付属ACアダプターでのご使用をお勧めいたします。

※電池が本機に入っている場合は、付属ACアダプターに電源が切り替わります。電池は消耗しません。（付属ACアダプターで使用する際は電池を抜いてご使用いただくことをおすすめ致します。

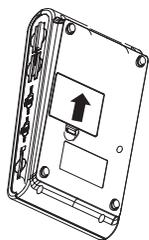
※本機へ付属ACアダプターを接続する際は本機の電源をオフにして行ってください。

※付属のACアダプター以外のご使用になれませんのでご注意ください。

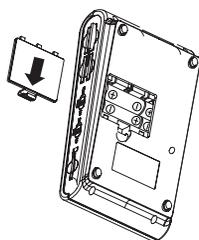


電池の入れ方

- 1 電池カバーを外してください。

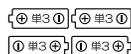


- 2 別売の単3アルカリ乾電池を+ と-の向きに注意して入れてください。



ご注意

電池の向きに注意



※電池は長時間使用しない時は必ず取り出してください。
液漏れの原因となる恐れがあります。

※ご自宅でのご使用時は、付属の ACアダプター でのご使用
をお勧めいたします。

※電池交換の場合、時計がリセットされ、2014年1月1日午前
12:00:00 に変わりますので改めて時計を設定しなおしてく
ださい。(P13参照)

4. 電話の通話を録音する

電話の通話録音には以下の方法がありますので、お客様のご利用方法に合わせて適切なモードに設定してご使用ください。

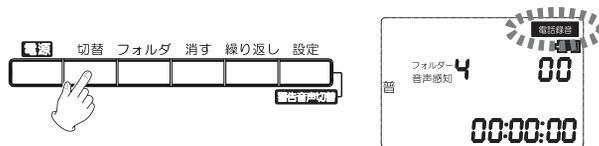
(1) 電話の通話を自動で録音する（警告音声は流れません） 『録る（警告音声）』ボタンを1回だけ押す必要があります。

主に相手側からかかってきた電話に対して有効な録音方法です。
警告音声を流すことができません。基本的に電源は入れたままの状態で使用します。

- 1 本体右側面の『電話自動録音』スイッチを「ON」に設定します。



- 2 『切替』ボタンを押して電話録音モードに切替ます。
(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要があります)



- 3 『録る（警告音声）』ボタンを1回押すと録音待機状態となります。



- 4 相手から電話がかかってきたら受話器をとります。

- 5 自動で録音がはじまります。



※最初の数秒は録音できない場合があります。

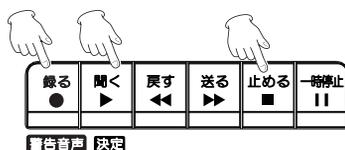
- 6 通話が終了して受話器を置くと自動的に録音が待機状態になります。

- 7 『止める』ボタンで録音を停止しない限り上記の待機状態が続きます。相手から電話がかかってきて受話器をとると録音が再開します。

※『止める』ボタンを押さない場合でも待機状態が10秒以上経過すると前回録音した通話を自動的に保存して待機状態に戻ります。（但し、前回録音した通話が6秒以下の場合は保存されず、待機状態のままとなります。）

- 8 再生するときは『止める』ボタンを押し、『聞く』ボタンを押してください。一番最近録音した会話が再生されます。

※再生した場合は録音待機状態が解除されますので、再度、録音する場合は、『録る（音声警告）』ボタンをもう一度押してください。



(2) 音声警告を流した後、電話の通話をすぐに録音する『録る(警告音声)』ボタンを録音する度に毎回押す必要があります。

主に相手側からかかってきた迷惑電話に対して有効な録音方法です。警告音声が流れます。

- 1 本体右側面の『電話自動録音』スイッチをオフに設定します。

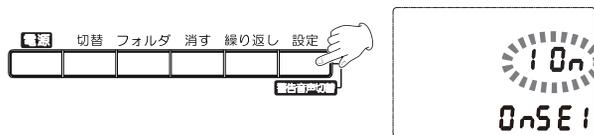


- 2 『切替』ボタンを押して電話録音モードに切替ます。
(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要があります)



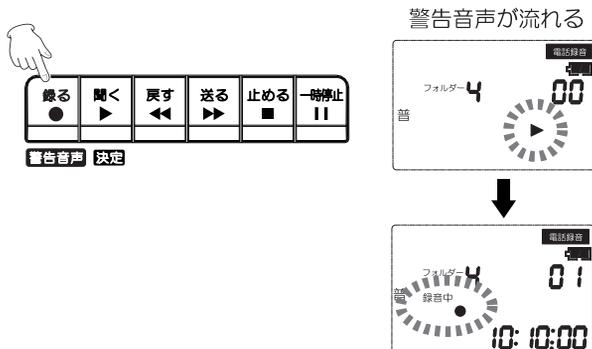
- 3 『設定』ボタンを短く押して「1 On」又は「2 On」に設定します。

※取説P31「警告音声を流す」を参照してください。

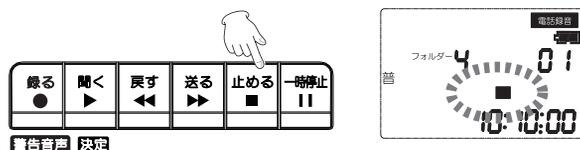


- 4 相手から電話がかかってきたら受話器をとります。

- 5 『録る（警告音声）』ボタンを押すと、警告音声が流れた後、録音を開始します。



- 6 通話が終了して受話器を置いた後、『止める』ボタンを押して録音を停止します。



- 7 再生するときは『聞く』ボタンを押してください。
一番最近録音した会話が再生されます。
※録音した音声の再生方法は取説P42を参照してください。

ご注意

- メモリーが一杯になったら古いデータから自動的に削除して上書きします。
- コードレス子機で電話に出た場合は本機の全ての機能をご使用になれませんのでご注意ください。
- 電話機のハンズフリー機能をご使用の場合、本機の電源をオフにする必要がありますので、ご注意ください。

5. 警告音声を流す

『警告音声切替（設定）』ボタンを押すたびに「1 On」→「2 On」→「OFF」と切り替わりますので、「1 On」又は「2 On」に設定してください。



「1 On」の内容

「この通話は通話内容の確認のために録音致します」

「2 On」の内容

「お電話ありがとうございます。お客様との通話はお問い合わせ内容の確認とサービス向上のために録音をさせていただきますことがありますのであらかじめご了承ください」

「OFF」

警告音声を出しません。

ご注意

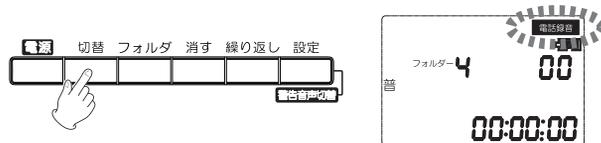
音声警告の再生中は電話の通話録音、また、音声警告の内容は録音出来ませんのであらかじめご注意ください。

6. 電話自動録音を設定する

- 1 本体右側面の『電話自動録音』スイッチを「ON」に設定します。



- 2 『切替』ボタンを押して電話録音モードに切替えます。

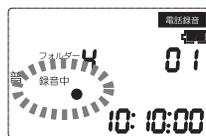


- 3 『録る (警告音声)』ボタンを1回押すと録音待機状態となります。



- 4 相手から電話がかかってきたら受話器をとります。

- 5 自動で録音が始まります。



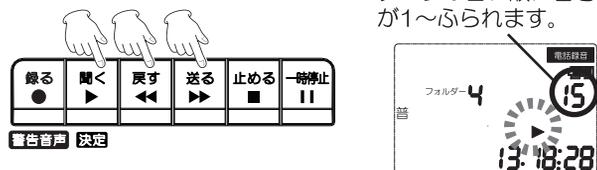
※受話器を置くと自動で録音を終了します。

7. 録音した通話を再生する

- 1 『切替』ボタンを押して **電話録音** に設定します。(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要があります)
録音した通話はフォルダ-4に保存されています。



- 2 ◀◀ 又は ▶▶ で再生するファイルを選択し、『聞く』ボタンを押すと再生が始まります。



- 3 再生中に『止める』ボタンを押すと再生を停止します。



- 4 再生中に『一時停止』ボタンを押すと一時停止します。『聞く』ボタンをもう一度押すと再生が始まります。



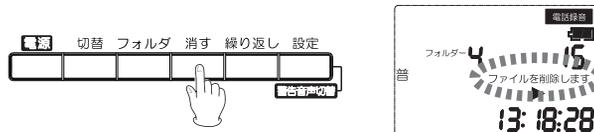
8. 録音した通話を削除する

<ファイルを1つ削除>

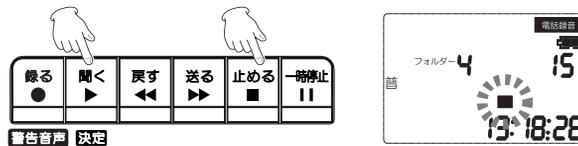
- 1 録音/再生停止画面で ◀◀ 又は ▶▶ で削除したいファイルを選択します。



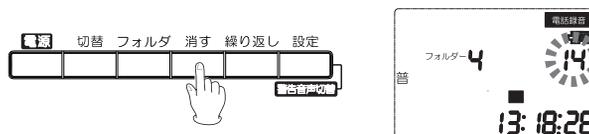
- 2 『消す』ボタンを短く押すと、画面に「ファイルを削除します」と表示され、そのファイルを削除確認のため再生します。



- 3 削除をキャンセルする場合は『聞く』又は『止める』ボタンを押します。

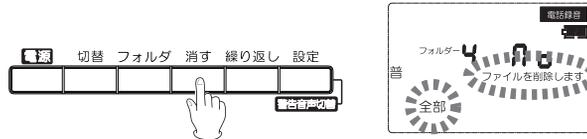


- 4 ファイル再生中にもう一度『消す』ボタンを押すと録音したファイルが削除されます。



<フォルダ内の全てのファイルを削除>

- 1 録音/再生停止画面で『消す』ボタンを長押しすると、画面に「ファイルを削除します」、「全部」と表示されます。



- 2 削除をキャンセルする場合は ◀◀ 又は ▶▶ で「no」を選択して『決定（聞く）』ボタンを押します。
- 3 削除を実行する場合は ◀◀ 又は ▶▶ で「YES」を選択して、『決定（聞く）』ボタンを押します。



- 4 フォルダ「4」内の全てのファイルが削除されます。

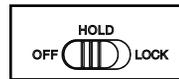
9. その他の基本的な使い方

ホールドスイッチの使い方

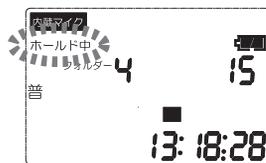
- 本体右側面にあるホールドスイッチを「LOCK」にスライドさせると誤動作を防ぐことができます。
- ホールド状態を解除するにはホールドスイッチを「OFF」にスライドさせます。



ホールドスイッチを「LOCK」
又は「OFF」に設定します



- ホールドがオン状態の時に画面に下図のように表示されます。

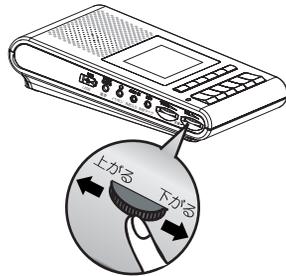


注意

本体が動作しない場合は、
ホールドスイッチがオン
になっていないか確認し
てください。

音量を調整する

本体左側面の音量ダイヤルを回し、音量を変えることができます。

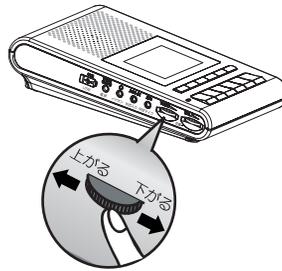


注意

※本体スピーカーは、音源により最大音量で再生し続けると破損する原因となりますのでご注意ください。

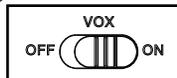
音質を調整する

お好みの音質に調整します。



VOX機能を設定する

内蔵マイク、**外部マイク**、**外部入力** モードで 音声の有無を感知し、音があるときだけ録音する機能でメモリーを節約する事ができます。



※電話録音モードの時は「電話自動録音」の設定となります。

各種設定

『設定』ボタンを長押しすると各種設定モードに入ります。

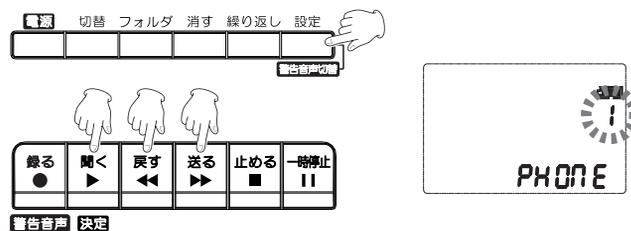
『決定（聞く）』を押す度にモードが切り替わります。

電話機タイプ設定→録音音質設定→フォーマット→日付、時刻の設定
→最初に戻る

※設定項目を選択したあと、『決定（聞く）』ボタンを押さないと設定
されませんのでご注意ください。

※設定の途中でも『設定』ボタンを押すと各種設定モードを終了し、元
の画面に戻ります。

- 1 『設定』ボタンを長押しすると、電話機タイプ設定画面が表示され
ます。電話機タイプ「1」～「4」を◀◀ 又は ▶▶ で設定し、
『決定（聞く）』ボタン押して決定します。



- 2 次に録音設定画面が表示されます。録音音質を◀◀ 又は ▶▶ で
設定し、『決定（聞く）』ボタンを 押して決定します。
「最」→「高」→「普」→「長」という順に画面表示が切り替わり
ます。

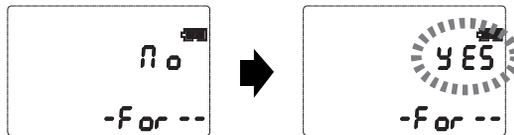


最高	： 最	LPCM 48k	CDに近い音質で録音することが可能です。 ライン録音には最適な設定です。
高音質	： 高	LPCM 16k	クリアな音質で録音できます。電話の通話録音に 適しています。
普通	： 普	APCM 64k	標準録音です。ボイスの録音にはおすすめです。
長時間	： 長	APCM 32k	長時間録音におすすめですが、低音質です。

■ 注意事項！

すべての録音モードはモノラル録音となります。

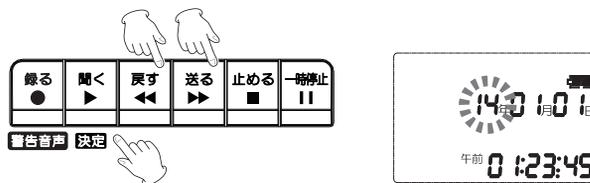
- ③ 次にフォーマット設定画面が表示されます。◀◀ 又は ▶▶ で「YES」に設定し、『決定（聞く）』ボタンを押して決定します。録音した内容を全て消去します。



⚠ 注意

消去したデータは元に戻すことができません。フォーマットを実行する前にパソコンにデータを保存することをおすすめします。フォーマットは十分に注意して行ってください。

- 4 次に日付・時刻設定画面が表示されます。
「年」(西暦)を「◀◀」又は「▶▶」で設定し『決定』(◀▶)ボタンを押して決定します。以降の「日」、「時」、「分」、「秒」も同じ方法で設定してください。
設定が全部終わったら、『決定』(◀▶)ボタンを押します。



- 5 最後に『設定』ボタンを押して設定完了です。

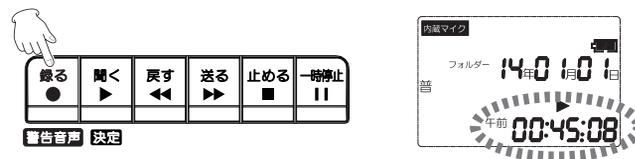
録音残時間を表示する

録音中に『決定 (聞く)』ボタンを押すと録音残時間が表示されます。



録音したファイルの録音日時を表示する

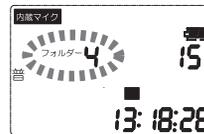
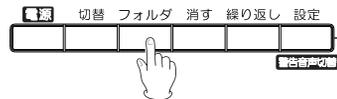
再生中に『録る』ボタンを押すと録音したファイルの録音日時が表示されます。



10. ボイスレコーダー機能を使う

録音する

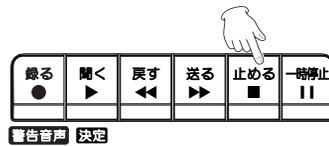
- 1 『切替』ボタンを押して**内蔵マイク**モードにします。
(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要があります)
- 2 『フォルダ』ボタンを押して録音内容を保存したいフォルダを選択します。ボタンを一回押す毎にフォルダが1→2→3→4と切り替わります。



- 3 『録る』ボタンを押すと録音が始まります。



- 4 録音中に『止める』ボタンを押すと録音を停止します。

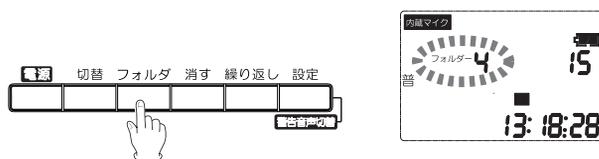


- 5 録音中に『一時停止』ボタンを押すと一時停止します。『録る』ボタンをもう一度押すと録音が始まります。



再生する

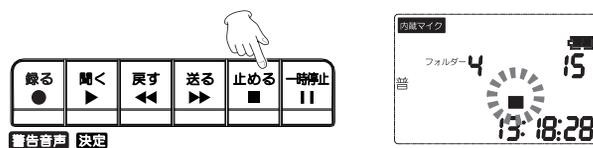
- 1 『フォルダ』 ボタンを押して再生したいフォルダを選択します。
ボタンを一回押す毎にフォルダが1→2→3→4と切り替わります。



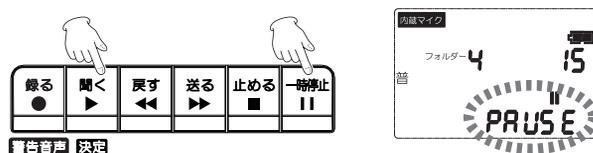
- 2 ◀◀ 又は ▶▶ で再生するファイルを選択し、『聞く』 ボタンを押すと再生が始まります。



- 3 再生中に『止める』 ボタンを押すと再生を停止します。



- 4 再生中に『一時停止』 ボタンを押すと一時停止します。『聞く』 ボタンをもう一度押すと再生が始まります。



早戻し/早送り

再生中に ◀◀ 又は ▶▶ ボタンを長く押し続けると、押しただけ
早戻し/早送りになります。



リピート再生する

本機では1ファイル、及びフォルダ内の全てのファイルのリピート
再生ができます。

<1ファイルのリピート再生>

再生中に『繰り返し』ボタンを1回押すと、画面に「1回」が表示
され、再生中のファイルを繰り返し再生します。



<フォルダ内の全てのファイルの再生>

リピート中に『繰り返し』ボタンを押すと、画面に「全部」が表示
され、再生中のフォルダ内全てのファイルを繰り返し連続再生しま
す。もう一度“繰り返し”ボタンを押すとリピート解除となります。



録音したファイルを削除する

<ファイルを1つ削除>

P34を参照してください。同様の操作となります。

<フォルダ内の全てのファイルを削除>

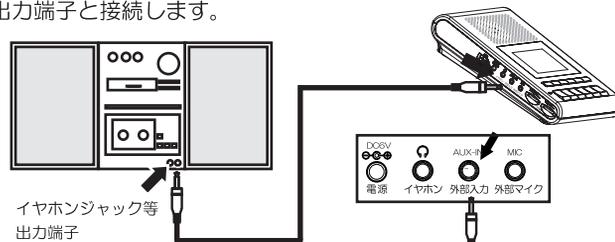
P35を参照してください。同様の操作となります。

外部入力の録音方法

- 1 『切替』ボタンを押して外部入力録音モードに切替えます。
(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要
があります)



- 2 別売のラインケーブルを本機の外部入力端子に差込み、他機器の出力端子と接続します。



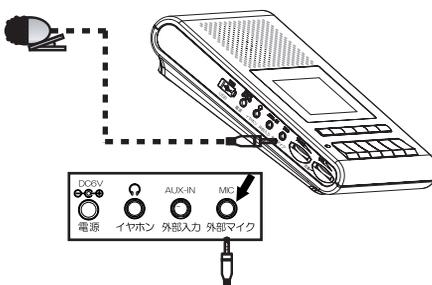
- 3 接続している他機器を再生し、録音を始めた箇所まで本機の『録る』ボタンを押して録音を開始します。
※外部入力の録音データはフォルダ-3に保存されています。



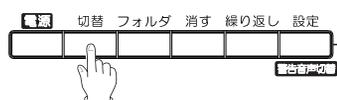
外部マイクの録音方法

- 1 別売の外部マイクを本機の外部マイク入力端子に差込みます。

外部マイク
(別売・市販品)



- 2 『切替』ボタンを押して外部マイク録音モードに切替えます。
(お客様の現在の状態により何回か『切替』ボタンを押す必要があります)



- 3 『録る』ボタンを押して録音を開始します。
※外部マイクの録音データはフォルダー1～4を選択して保存することができます。



11. パソコンで聞いたり、保存したりするには



(注) パソコン操作に関しては、パソコンメーカー様へお問い合わせください。

パソコンとの接続、取り外し

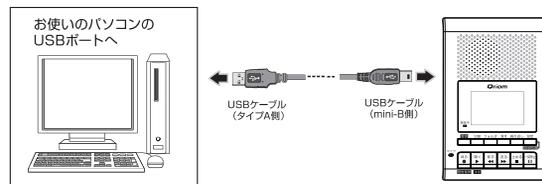
本機とパソコンを接続する

本機とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
※USBケーブルを差す際は、ふたをかみこまないように手で押さえながら差し込んでください。

<動作環境>

Pentium 500MHz processor 以上

Windows Vista /7/8/ Mac OS X(Version10.2.6以上)



パソコンと接続するとハードウェア認識のメッセージが表示され、USBドライバーがインストールされます。USBドライバーがインストールされると、エクスプローラーの「コンピュータ」の中にリムーバブルディスクが表示されます。

⚠ 注意 パソコンとの接続について

本機が再生中及び録音中にパソコンへ接続した場合、パソコンに認識されませんのでご注意ください。
上記以外の状態ではパソコンに認識されます。

本機とパソコンの接続を解除する

パソコン画面のタスクバー通知領域の“ハードウェアの安全な取り外し”アイコン( Windows7/8) をクリックし、表示された本機をクリックし、指示に従い取り外してください。

表示はお客様のパソコンの環境によって異なります。

ご使用上の注意

- 安全に本機の取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因になることもあります。
- 本機を間違った手順で取り外したことによるパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証いたしませんのでご了承下さい。
- 本機とパソコンが通信中の際は本機をパソコンから絶対に取り外さないで下さい。

パソコンで聞いたり、保存したりするには

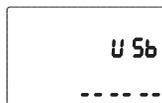
本機をパソコンに接続した場合、USBマストレージ（USBメモリー等）として機能します。パソコンに接続したUSBメモリーと同様な操作で、録音したファイルの再生、保存ができます。

保存方法はパソコンメーカー様にお問い合わせください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたは SD、SDHCカードに保存してください。

パソコンに接続中の本機の画面表示



パソコンに接続中の本機のフォルダ構成



“リムーバブルディスク (I)”の“I”は、お客様のパソコンの環境によって異なります。

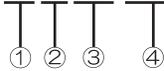
本機のSD、SDHCカードが挿入されている場合、リムーバブルディスクは2つ表示されます。(アルファベットの若い順に内蔵メモリー、SD、SDHCカードとなります。)

RECORDフォルダはサブフォルダを含め、本機により自動作成されます。音声録音ファイルは“FOLDER1”～“FOLDER4”に保存されます。

<参考> パソコンに表示される録音ファイルのファイル名について

音声録音ファイル

HPSH001.WAV

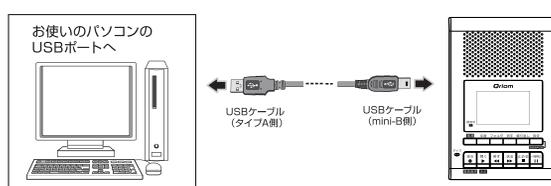


- ① 録音音質
- ② 固定
- ③ 通し番号
- ④ 音声ファイルの形式

12. 本製品をパソコンでフォーマット (初期化)するには

お手持ちのパソコンを使用して本製品の内蔵メモリーをご購入前の状態に戻すことができます。

- 1 パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。



- 2 パソコンに接続が完了したら、「コンピュータ」の中にあるリムーバブルディスクを探します。

- 3 ここからはお客様の環境により異なりますので十分に注意して作業を行ってください。本製品の内蔵メモリーに該当するリムーバブルディスクを右クリックします。



- 4 メニューが表示されフォーマットを左クリックします。
- 5 フォーマットのウィンドウが開きますので開始をクリックします。これでフォーマットは完了です。



⚠️ ご注意

フォーマットを実行すると、メモリーに保存されていたファイル、データは全て消去されます。元に戻すことはできませんので実行する際は十分に注意して行ってください。また、実行する前にパソコンのハードディスクなどにバックアップすることをお勧めいたします。ホールドスイッチをオンの状態にして、パソコンに接続した場合、パソコンでのフォーマットはできませんので、ご注意ください。ホールドスイッチをオフにしてパソコンに接続してください。

本製品のメモリーに保存されているソフトウェアはフォーマットを実施しても消去されません。お客様が保存されたデータのみ消去されます。

13. データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、いっさいの責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

14. 著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

15. 故障かな・・・?と思ったら

故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

電源

- 電源が入らない。

 - ・ ACアダプターが接続されていない。
 - ▶ ACアダプターのコネクタを奥までしっかり差してください。
 - ・ 電池残量が少ない。
 - ▶ 新しい電池に交換してください。
 - ・ 電池の+、-が逆。
 - ▶ 正しく電池を入れ直してください。
 - ・ 動作がおかしい。
 - ▶ 電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

電話通話録音

- 警告音声が流れない

 - ・ 電話録音モードに設定されていない。
 - ▶ P31を参照してください。
 - ▶ 電話自動録音の設定スイッチをオフにしてください。
- 通話録音ができない

 - ▶ P27を参照して最初からやり直してください。
 - ・ 電話録音モードになっていない。
 - ▶ 『切替』ボタンを何度か押して画面右上に『電話録音』の表示が出ることを確認してください。

スピーカー

■ 音声がスピーカーから聞こえない

- ・音量が小さい。
 - ▶ 本体左側面の音量ダイヤルで音量を大きくしてください。
- ・イヤホンが接続されている。
 - ▶ イヤホンを抜いてください。

録音・再生

■ 録音がうまくできない。

- ・ホールドが「オン」になっている。
 - ▶ ホールドスイッチを「オフ」にしてください。
- ・録音時間、録音件数がいっぱいになっている。
 - ▶ いくつかのファイルを消去してください。
 - ▶ パソコンと本機を接続し、内蔵メモリのデータをパソコンに移動してください。

■ 再生がうまくできない。

- ・ホールドが「オン」になっている。
 - ▶ ホールドスイッチを「オフ」にしてください。
- ・電池残量が少ない。
 - ▶ 新しい電池に交換してください。

16. 画面メッセージ一覧

FULL

- 録音時間がいっぱいになった時に表示されます。
 - ▶ いくつか録音したデータを消さないと録音できません。
- 現在のフォルダで録音したファイルが99個の時に表示されます。
 - ▶ いくつか録音したデータを消さないと録音できません。

OnSEI

- 電話録音で警告音声設定時に表示されます。

Lo bAt

- 電池残量が少なくなった時に表示されます。

PHONE

- 電話機タイプの設定時に表示されます。

PAUSE

- 一時停止時に表示されます。

Sd Err

- SDカードが書き込みロックされている場合や、SDカードに何らかのエラーが生じている時に表示されます。

17. 製品仕様

型番	YVR-DR1			
内蔵メモリー	4GB			
外部メモリー	SD(SDHC)スロット搭載			
LCD	65×45セグメントバックライト付きLCD			
再生形式	LPCM	LPCM: 48KHz/16Bit 16KHz/16Bit:(モノラル)		
	ADPCM	ADPCM: 64Kbps 32Kbps:(モノラル)		
録音形式	LPCM	LPCM: 48KHz/16Bit 16KHz/16Bit:(モノラル)		
	ADPCM	ADPCM: 64Kbps 32Kbps:(モノラル)		
外部出力端子	モノラルイヤホン端子 φ3.5mm ミニジャック			
入力端子	外部 モノラルマイク端子φ3.5mm ミニジャック			
	外部 モノラルライン端子φ3.5mm ミニジャック			
外部インターフェース	USB端子	USB2.0 Hi-speed		
フォルダ/ファイル(内蔵マイクモードと外部マイクモード)	4フォルダ(1~4)/99ファイル(1フォルダあたり)、合計396ファイル			
フォルダ/ファイル(外部入力モード)	1フォルダ(フォルダ3専用)/99ファイル(1フォルダあたり)、合計99ファイル			
フォルダ/ファイル(電話録音モード)	1フォルダ(フォルダ4専用)/99ファイル(1フォルダあたり)、合計99ファイル			
オーディオ	S/N比	40dB		
	周波数特性	300Hz-10KHz		
	イヤホン	音楽ファイル再生時	2mW+2mW	
		録音ファイル再生時	2mW+2mW	
スピーカー	最大800mW			
OS	Windows Vista/7/8、Mac OS X(Version 10.2.6)以上			

電 源	DC6V、 アルカリ単3形乾電池×4(別売市販品)、 単3形ニッケル水素充電電池×4(別売市販品)	
再生時電池 持続時間	内蔵メモリー	約60時間(内蔵スピーカー、 音量約半分)
録音時電池 持続時間	内蔵メモリー	約90時間(最高音質)
最大録音時間 (4G)	LPCM : 48KHz/16Bit 12時間 16KHz/16Bit 36時間 ADPCM : 64Kbps 136時間 32Kbps 272時間	
SDカード	SD	2GB
	SDHC	32GB
外形寸法	W180mm × H41mm × D122mm	
重量	約 260g (本体のみ)	

ご注意

電池持続時間は参考値です。
使用する電池、使用する条件により大きく異なります。

18. 免責事項

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは キュリオム サポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③本製品のために費やした時間、経費
- ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常 また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

※本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

19. お手入れの仕方

<本体の清掃>

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い	
<ul style="list-style-type: none">●お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。	
<ul style="list-style-type: none">●本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。	

20. アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

■ アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店か キュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：

21. 個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善 及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。